資　料

協議会記録資料

日　時:平成24年2月9日　　16時
会　場:橿原市役所　北館　会議室

出席者:国土交通省　近畿運輸局　企画観光部
奈良県　観光局　国際観光課
橿原市　地域振興局　観光課
吉野町役場　町づくり振興課
桜井市　観光課
桜井市産業建設部　観光課
近畿日本鉄道株式会社　大阪輸送統括部　運輸部営業課主査
吉野大峰ケーブル自動車株式会社
株式会社電通　関西支社

要旨(確認・提案内容):

・外国人がひとりで来ても、あるいは日本に来た外国人のブログを追っても気軽に旅行できることが基本コンセプト

・庁内で検討した。①桜井駅は近鉄とJR共同利用。委員会にJRは入らないのか。②多重言語併記になると文字が小さくならないか。また大三輪神社など信者の献上名前がきえないようにして欲しい。

・提案では基本カラーが桜色になっているが景観にマッチしない。桜井市では茶色系の色で統一しようとしている。

・車内案内OBCの多言語化を希望している。バス運転手は外国人観光客に対応できない。また市内コミュニティーバスについては桜井市から委託を受けて運営しているので、桜井市の判断を待ちたい。車内アナウンスをかえたくないので、バス停の地名表示は注意してほしい。

・わが社は全体のデザイン基本指針があってそれにのっとったデザインが必要。桜井市観光案内も近鉄の物件だが、一つをかえると他が古いままだとおかしく、他も帰る必要が出てくる可能性がある。

・橿原神宮駅の看板を多言語化するプランだが、年末年始は案内方向を大きく変える。また一部の建物は有名建築家の手になるので、勝手に看板等をかえづらい。
いづれにせよ子会社のアド近鉄で作業したい。

・いろんなご要望は出来るだけ反映させていくが、そもそもこの調査は如何に『現地へたどりつく』と言うことに主眼が置かれ、観光名所自体の解説ではない。たとえば今井町の解説ではなく、今井町への『行き方』の調査である。

・観光サイトそのものを扱うのは難しい。あくまでも主眼は観光地アピールではなく、そこへいかに外国人が到達しやすくなるかである。

・形式としては国交省が基礎自治体や各社に実験的掲載場所を借りている形になっているので、公共看板と同様に考えてほしい。

・以上の意見を参考にして、早急に国交省近畿運輸局で実施プランをまとめ提示するので、ご協力よろしくお願いしたい。